

オウケイウェイヴ中期ビジョン

# Future of OKWAVE



2019年8月16日

株式会社オウケイウェイヴ

## ディスクレーマー

本資料は当社の事業及び当社の事業計画における方向性を示す目的で作られたものであり、当社発行有価証券への投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料に記載された業績、将来に対する見通しについては、現時点で当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

合わせて、本計画の実現を当社として約束する趣旨のものではなく、今後、予告なく変更される可能性がありますのであらかじめご了承ください。

当社は感謝の気持ちを大切にし、助け合う精神のもと、  
経済発展に貢献する企業です

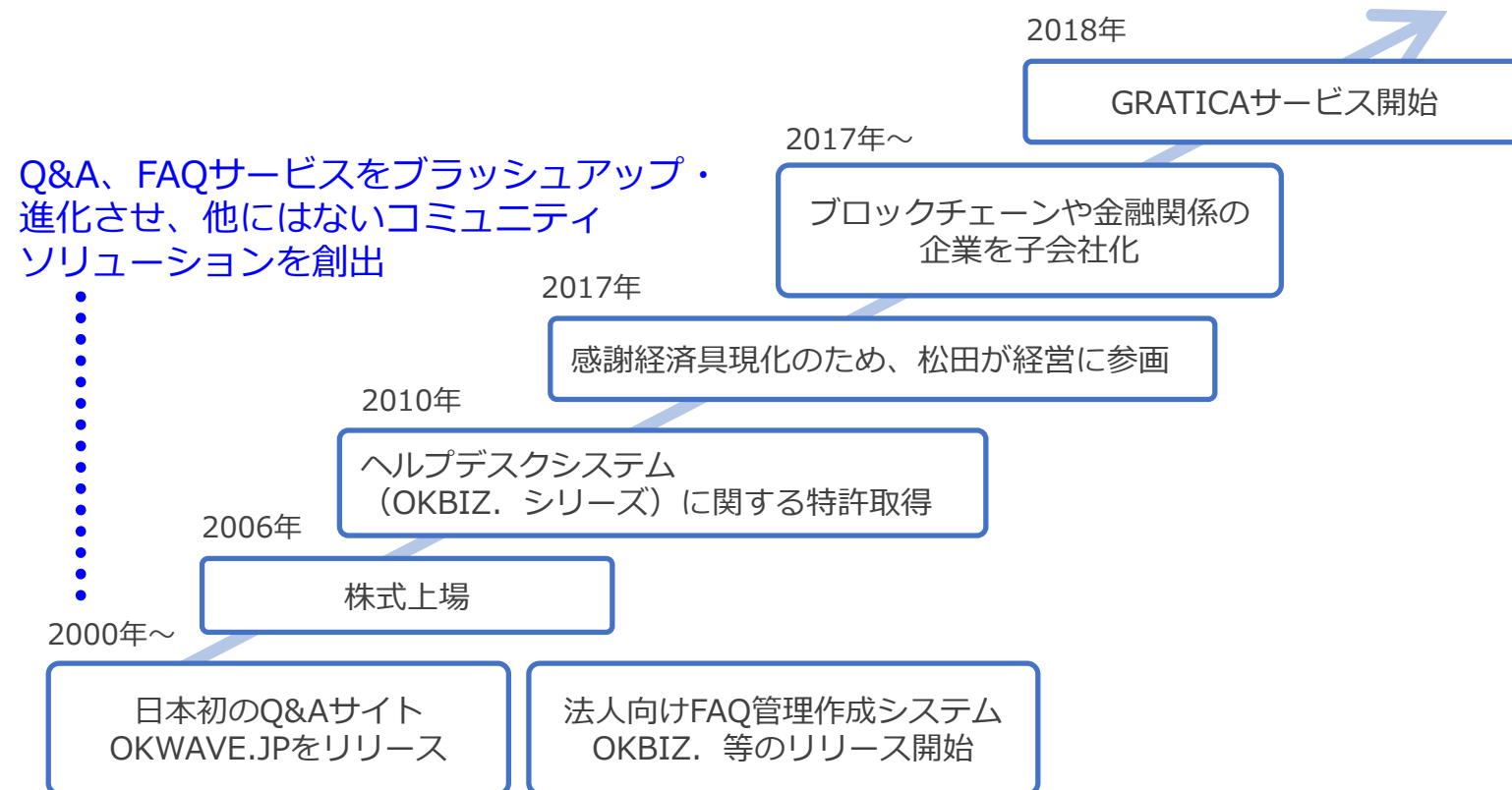
オウケイウェイヴの  
MISSION



互い助け合いの  
場の創造を通して、  
物心両面の幸福  
を実現し、  
世界の発展に  
寄与する

当社は日本初のQ&Aサイト発案から、法人向けFAQサービスなど人々の困りごとを解決するソリューションを提供してきました。

感謝経済とフィンテックで、新しいシナジーを創出する未来へ



Q&A、FAQサービスをブラッシュアップ・進化させ、他にはないコミュニティソリューションを創出

## オウケイウェイヴの これまで

現在のオウケイウェイヴは、主に4つの事業で構成されています。

## オウケイウェイヴの 事業

### コンシューマー・サービス事業

当社の代表的なサービスである日本最大級のQ&Aサイト「OKWAVE.JP」の運営や、WEBグリーティングカードサービスのGRATICAなどを運営、展開。北米での類似サービスDAVIAも展開。



### エンタープライズ・ソリューション事業

OKBIZ. を中心に、事業の収益源となっている事業。現在国内の大手企業約600社をクライアントに持ち、サブスクリプションによる安定的な収益を計上できる。



### インバウンド・ソリューション事業

24時間365日体制の多言語コンタクトセンターである子会社ブリックス社が中心の事業。AI通訳/翻訳の開発などにも取り組み、今後さらに高まる需要に対応していく。



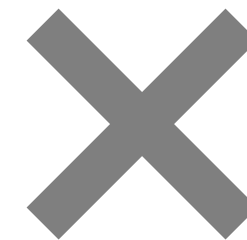
### フィンテック事業

今後の当社成長戦略の柱。ブロックチェーンに関する開発や、暗号資産取引事業、証券会社など、金融に関する企業が中心。現在機能拡充+グループ体制構築中。





新たにフィンテック事業を開始していますが、フィンテック事業で実現したいのは、暗号資産取引業者としての収益だけにとどまらず、これまで培ってきたコミュニティに暗号通貨が掛け合わさる世界を創出することです。



助け合いの気持ちをフィンテックでつなぐことで、  
いままでにない世界を創造する

オウケイウェイヴの  
これから

## これまでの実績と課題

### 実績

年間7,000万人のユーザーからなるコミュニティの設立  
同コミュニティから成る様々な分野の豊富なナレッジ  
約600社に及ぶ国内の優良な法人顧客基盤と、安定的な収益  
フィンテックに関する多様な機能を保有する企業のM&A  
フィンテック事業に欠かせないブロックチェーンに関する専門の開発センター設立

### 課題

フィンテック関連の多様な機能は有したが、グループ全体でシナジーを創出できるような基盤整備が必要  
先進分野に対するさらなる投資、資金調達  
完全競合する企業はないが、増加するフィンテック各社に埋もれないためのスピード感  
今後の少子高齢化、人口減に対応するような問題解決ソリューションへの進化

FALEMINDERIT  
GRAZIE  
ASANTE  
EYXAPICTO  
DIAKUIU  
MERCII  
HVALA  
GRACIAS  
DZIEKUJE  
DANKE  
TACK  
شكرا لك  
ДЗЯКУЮ



中期ビジョン  
Future of OKWAVE

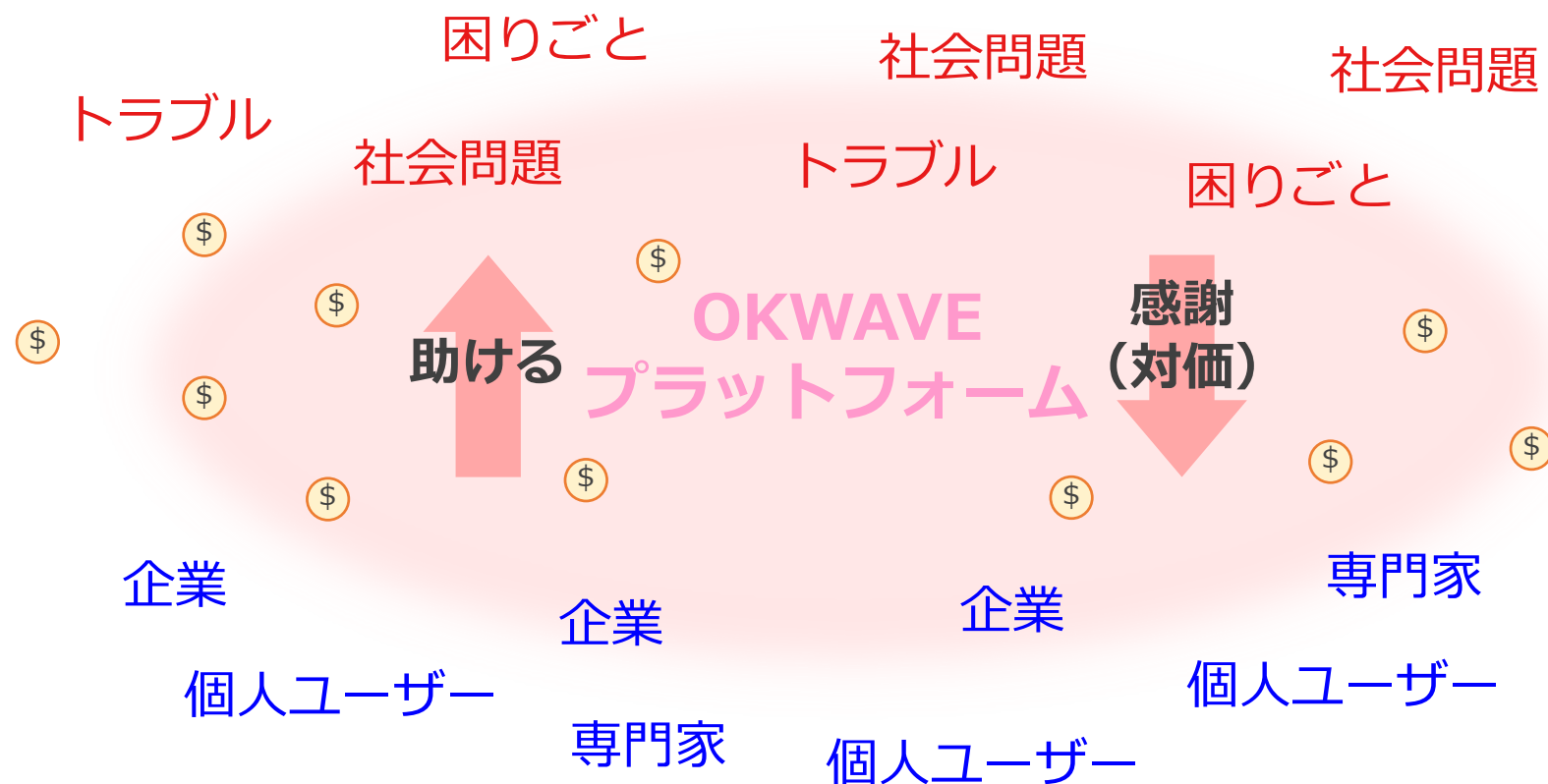
PALDIES  
ACIU  
THANK YOU  
DANK U WEL  
धन्यवाद  
KIITOS  
NA GODE  
спасибо  
DANKON  
谢谢  
OBRIGADO  
diolch  
TÄNAN  
TESEKKUR EDERIM



当社はこれまで積み重ねてきた顧客資産や多くのユーザーとのコミュニティに、フィンテックを掛け合わせることで新しい経済圏の創出を目指しております。

中期ビジョン  
Future of OKWAVE

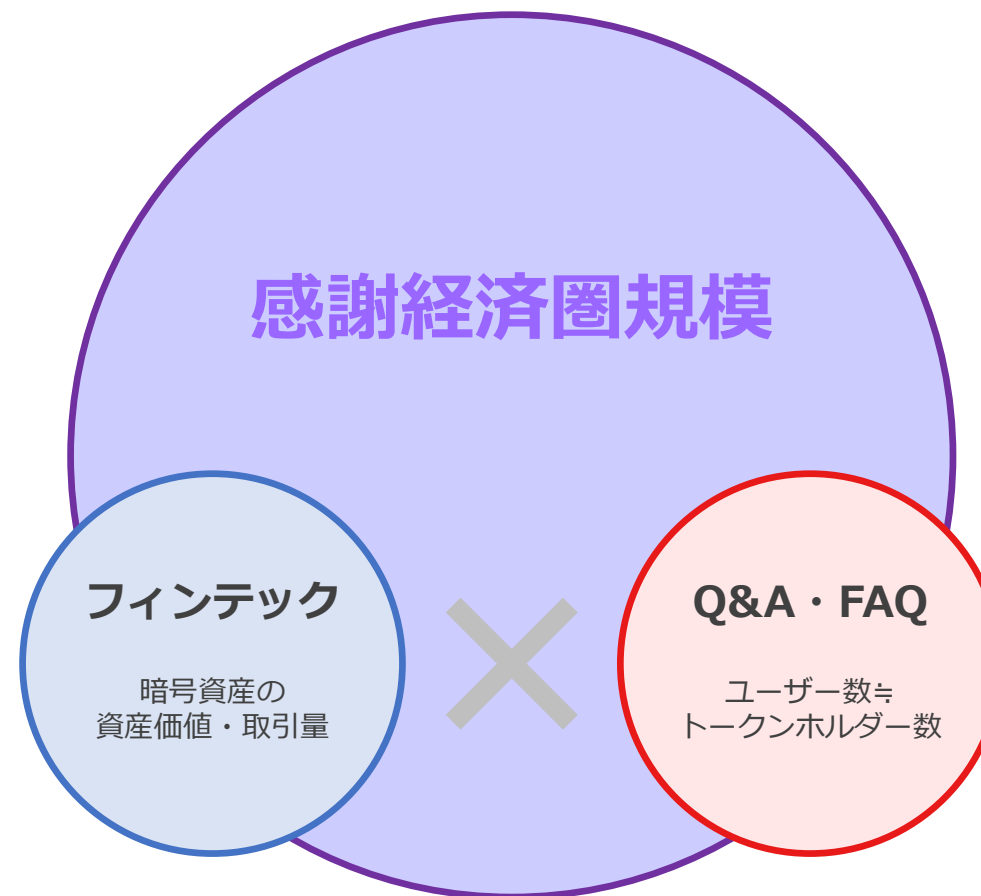
感謝経済圏の創出



感謝経済圏の実現に向けて、様々な可能性にチャレンジしてまいります。基本的な考え方としては「通貨の価値」と「プラットフォームでの人数」が「経済圏の規模 $\times$ 当社の本質的な価値」になると考えております。

## 中期ビジョン Future of OKWAVE

### 感謝経済圏の価値



感謝経済圏創出のため、これから3年を目安に、下記の取り組みを中心に、さらに各事業（機能）のシナジーを模索してまいります

1

## 感謝コミュニティの拡大と収益力の向上

現コンシューマー・サービス事業とエンタープライズ・ソリューション事業のシナジーを生み出し、より多くのユーザーを獲得

2

## パランティア社のサービス展開

同社の世界的にも評価の高いデータ解析の仕組みを日本企業やアジア圏の企業に販売

3

## フィンテック事業の確立

これまでに買収してきた子会社の各機能を統率し、グループ全体でのフィンテック事業として収益化を目指す

中期ビジョン  
Future of OKWAVE

これまではそれぞれ独立していたコンシューマー・サービスのQ&Aを中心としたサービスとエンタープライズ・ソリューションの2事業を1つに統合し、収益とコミュニティ基盤の拡大の実現を目指す。

### 中心となる取り組み



これまでOKBIZ. シリーズのメイン顧客層は国内の大手企業であったが、より柔軟なサービスに見直すことで、国内、海外や企業規模を問わず多くの企業に導入いただけるサービスへと見直し

合わせて法人とのコネクションが多いGRATICAを事業の中に取り込むことで、法人向けに案内を加速

## 中期ビジョン Future of OKWAVE

### 1. 感謝コミュニティの 拡大と収益力の向上

昨年契約したパラティア社のサービスを国内企業やアジア企業に向けて展開。グループの暗号資産取引所向けのセキュリティサービスにおける日本および主要なアジア各国の独占販売権を有している。

### パラティア社 サービスの特徴

#### シングルクライアントビュー

連結ベースでの顧客把握および、および異なる法域にまたがる取引主体間の関係性を、完全に可視化します。

#### AMLの動的トランザクション監視

順応性のある敵対者に対処するためにリスクシナリオを動的に進化させつつも、誤検知アラートを一桁減らすことができます。

#### 包括的な調査エコシステム

特定のケースに関連するすべてのデータソースをすばやく統合し、それらをオントロジー/データモデルに統合して、経験豊富な専門家の作業効率を加速します。

#### 柔軟な規制報告

数ヶ月ではなく数時間で、新しい規制要件に対応します。EU-GDPRのような新しい規制の枠組みに適應するために、事業分野を越えてシームレスにコラボレーションします。

同社のビッグデータ分析製品は、テロ対策、災害支援、サイバーセキュリティ、金融犯罪摘発、データ駆動型処理、生体研究、顧客審査などの幅広い用途に用いられている。

日本、主要なアジア各国の暗号資産取引所にパラティア社製品を提供できる独占権も有しているため、対象エリアでの営業展開を開始、強化し、単独での収益化を目指してまいります。

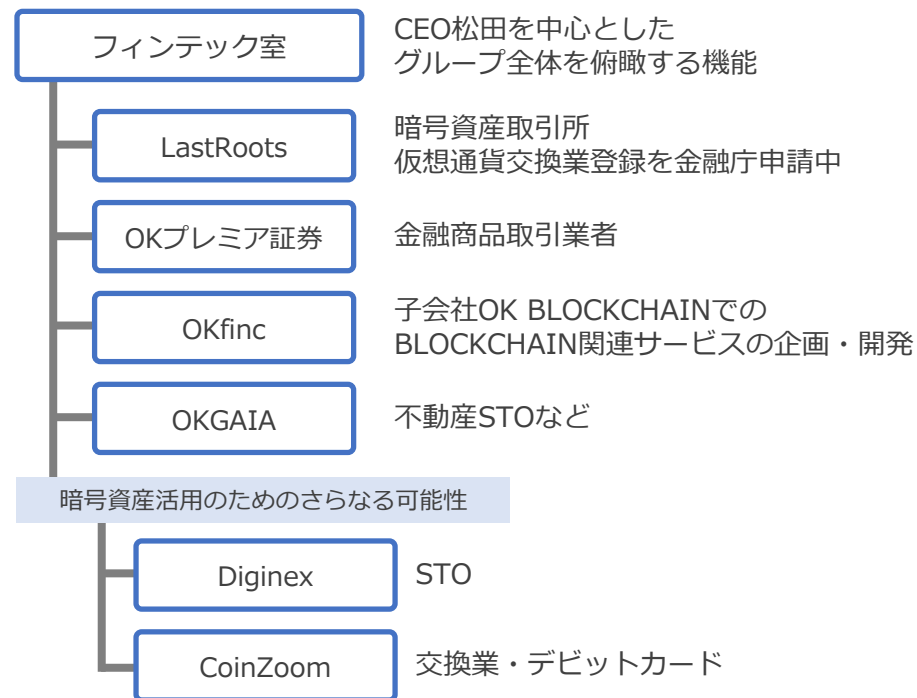
## 中期ビジョン Future of OKWAVE

## 2. パラティア社の サービス展開



M&Aで子会社化した各企業とのシナジーを創出させるべく、オウケイウェイヴ本社にフィンテック室を創設。  
 フィンテック事業全体のデザイン・コントロールを図っていく。  
 また、短期的にはフィンテック事業単体で収益化を目指す。

### フィンテック室を中心とした グループ体制図



### フィンテック事業 安定収益化のための施策

#### マイニングに関するサポート開始

ハッシュを販売代理する形で営業展開を実施

#### LastRoots社の取引所本格稼働

本格的に稼働させるべく体制強化及びキャンペーン等を実施

#### STOに関する研究

関連企業とも連携し、国内外でのSTOに関する研究、実現可能性を模索

※STO（セキュリティトークンオフリング）とは、主に株式などの証券（セキュリティ）をブロックチェーン上でトークンとして発行すること

## 中期ビジョン Future of OKWAVE

### 3. フィンテック事業の 確立

今期からは、下記の事業区分とセグメントで取り組んでいく予定です。

**(仮称)  
ソリューション事業**

現コンシューマー・サービス事業のQ&Aを中心としたサービスとエンタープライズ・ソリューション事業、新たに注力分野としたパラティア社関連も同事業に含む

OKBIZ. シリーズの拡販と当社のコミュニティユーザー増加、パラティア社サービス拡販が主なミッション

**フィンテック事業**

本社にもフィンテック室を創設し、金融各社全体でのシナジー創出と、当社コミュニティとのシナジーを生み出すことが主なミッション

**インバウンド事業**

事業区分に変更なし

引き続き需要増が続いており、収益拡大がミッション

3つの事業を基軸に、成長性の高いフィンテック事業をいかに育てていくのが当社事業の全容となる

中期ビジョン  
Future of OKWAVE

2019年7月以降の  
事業区分とセグメント

## 中期ビジョン Future of OKWAVE

### 暗号資産ビジネスに おける市場規模と 当社の考え

日本国内における暗号資産の市場規模に関しては、正式に統計が取られたものは存在しませんが、2019年8月時点での時価総額が大きい主要5コインの時価総額合計額は、約47兆円（Bitcoin、Ethereum、XRP、Bitcoin Cash、Litecoinの合計、出所：CoinMarketCap）。

すでに大きなマーケットですが、一方で暗号資産は世界的にまだ法整備が十分に整備されておらず、株式市場ほどの投資家が参加できていないことから、伸びしろもあるマーケットであると考えております。

まだ金融庁による登録が完了していませんが、LastRoots社の取引所が本格稼働し、マーケットが伸びれば、取引手数料が見込めます。

暗号資産がさらに流通すれば、さらにセキュリティに対するニーズも高まり、パラティア社サイバーセキュリティサービスの販売可能性が高まります。

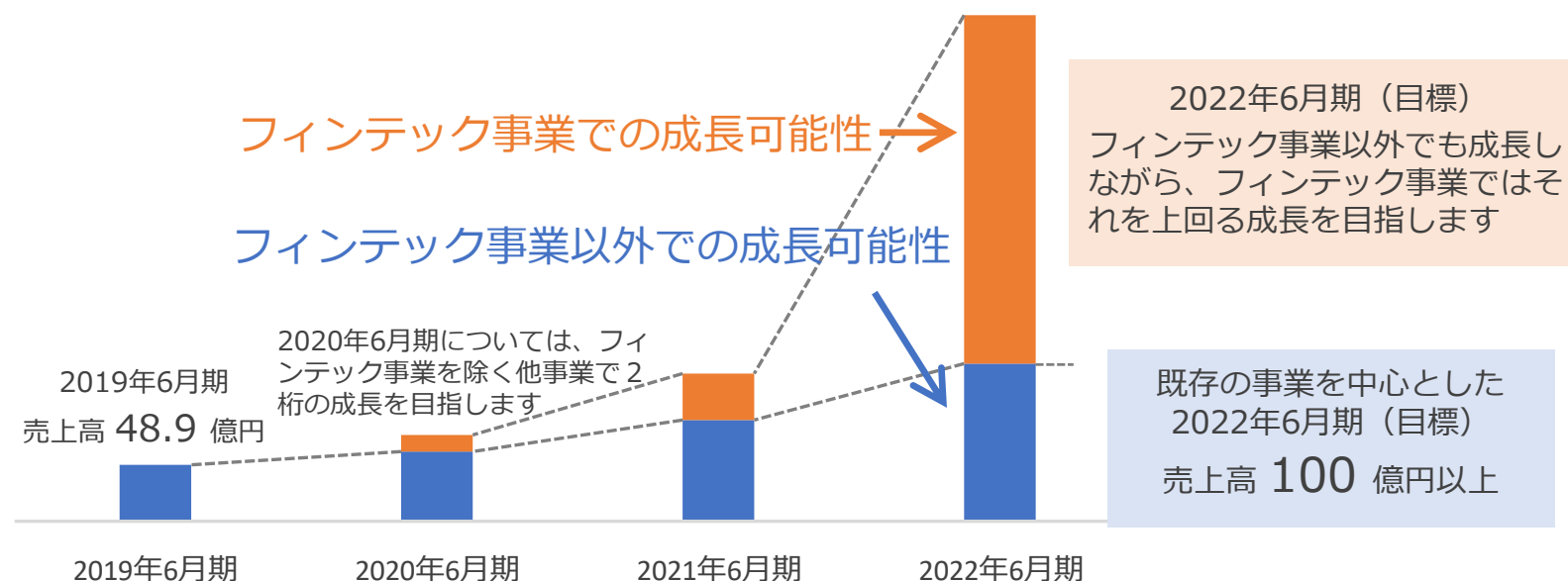
取引所が活性化していけば、当社のノウハウや技術力がコンサルティングや技術支援としても提供できる可能性が広がるなど、事業機会は増えていくものと考えております。

当社はそういった取り組みから、まずは国内の暗号資産市場に対し、1パーセントのシェアを取りに行くことを目標としております。

## 中期ビジョン Future of OKWAVE

### 数値計画イメージ

各事業における数値計画について、特にフィンテック事業については市況等に影響を受けやすく、見通しが立てづらいことから予想開示しておりません。また、来期以降は、これからのフィンテック事業に投資比重をさらに増やすため、短期的には連結利益の圧迫要因になる可能性を含んでおります。しかしながら、当社が目指す成長のイメージとして、フィンテック事業、フィンテック以外の事業では下記のような成長イメージを持って取り組んでおります。



注1) 上記グラフのフィンテック事業による成長可能性については、現在進行中である子会社LastRoots社の仮想通貨交換業登録の申請が通ること等、当社だけでは見通せない要因がクリアになった場合のイメージであります。

注2) 2019年のグラフ48.9億円は現フィンテック事業を含む連結売上高です。2020年6月期以降のオレンジはフィンテック事業の新しい収益になります。



## OKWAVE CENTREの設立

リリースでご案内の通り、今期虎ノ門へ移転を予定しております。

感謝経済の実現に向けて、新たに加わった子会社と同拠点とすることで円滑なコミュニケーションを図り、グループ全体での生産性を高め、グループシナジーを強化し、事業を推進してまいります。

また、移転を機に、これまでも徐々に進めていたペーパーレス化、クラウド化などによりリモートワークを推進し、多様な働き方の実現や、クリエイティブな発想の推進を目指します。

虎ノ門タワーズオフィス  
東京都港区虎ノ門 4-1-28



中期ビジョン  
Future of OKWAVE

持続的な成長を実現する  
ための組織づくり



FALEMINDERIT  
GRAZIE  
ASANTE  
EYXAPICCTO  
DIAKUIIU  
MERCII  
HYVALAN  
GRACIAS  
DZIEKUJE  
DANKE  
TACK  
شكرا لك  
ДЗЯКУЮ



ありがとうございました

PALDIES  
ACIU  
THANK YOU  
DANK U WEL  
धन्यवाद  
KIITOS  
NA GODE  
спасибо  
DANKON  
谢谢  
OBRIGADO  
diolch  
TÄNAN  
TESEKKUR EDERIM